

# 第1学年社会科学学習指導案

令和元年11月13日

場所 図書館

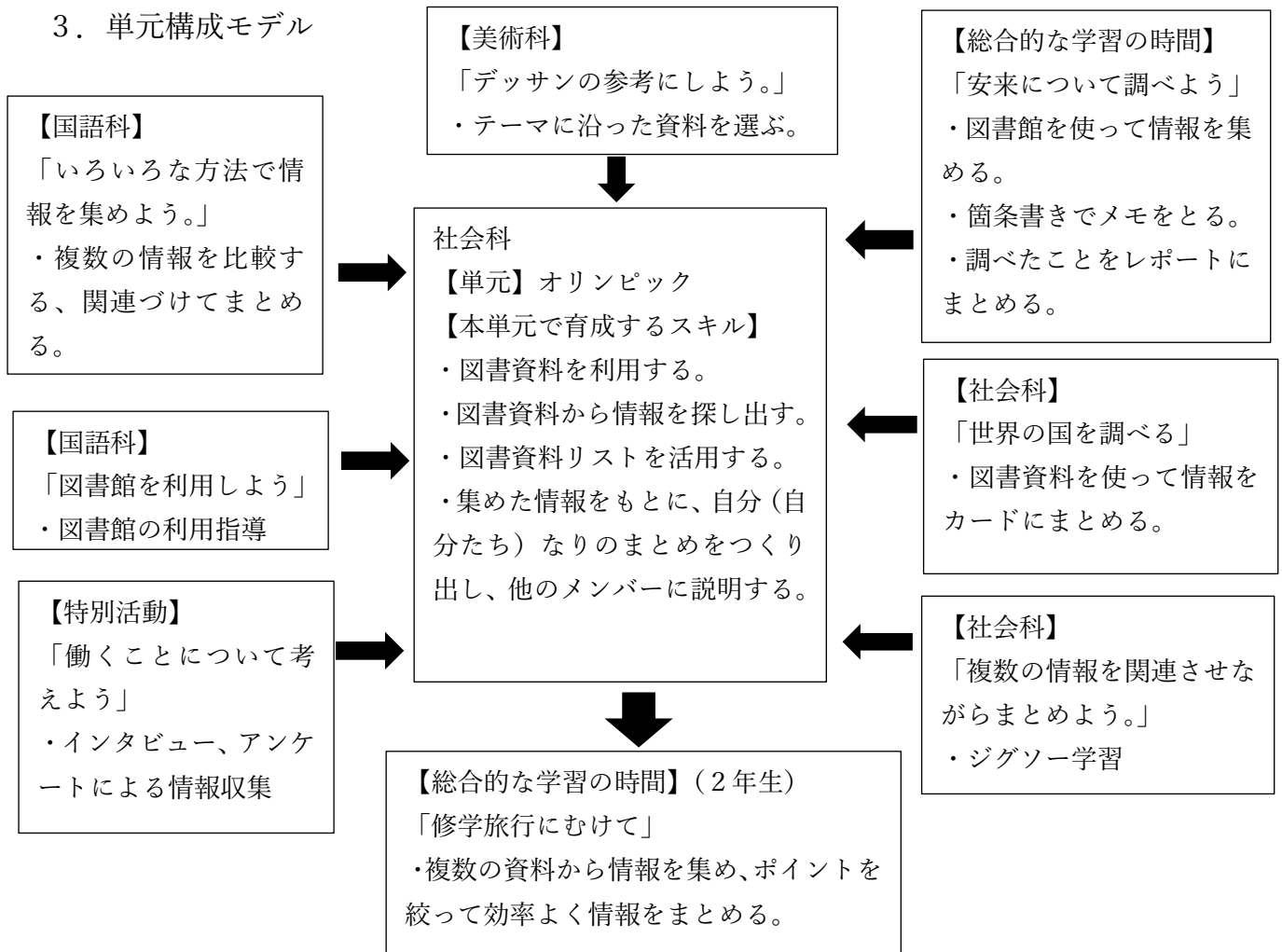
指導者 教科担当教諭

## 1. 単元名 オリンピック

## 2. 単元の目標

- ・日本と他国との同じところや違うところに気付いたり、世界の人々の生活を想像したりして世界の課題について自分に置き換えて考える。
- ・東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、世界平和に向けての考えや自分なりの思いをもつ。
- ・世界の現状や諸問題に関して興味・関心をもつ。

## 3. 単元構成モデル



#### 4. 基盤

○本単元は特設の単元として実施する。本学年の生徒は、入学後から平和学習や人権学習などの学習に機会があるごとに取り組んでいる。地理的分野「世界の諸地域」の学習を通して、世界の国々の様子について知りたいと考えている生徒も増えている。そのため、ラグビーのワールドカップやバレーボールのワールドカップなどのテレビ放映を見て、外国の文化に関心を持ったり、出場国に関心を持ったりしていることが会話の内容から感じることができる。特に、日本を含む7つの国の出身者がいて、さまざまな言語や文化が集まるいわば『多国籍チーム』であったラグビー日本代表の、さまざまな文化を持つ選手たちが強く結束した「ONE TEAM (=ワンチーム)」という考えに感銘を受けた生徒もいた。そこで、2020年に開催が決まった東京オリンピック・パラリンピックを題材にして、生徒たちの「他国とのつながりや共生することへの興味・関心」をさらに高めたいと思い本単元を特設した。オリンピックは「平和の祭典」と言われていることから、スポーツを通じて人種や差別、民族、国境を越えて平和な世界の実現をめざしている。平和な世界の実現のためにはまず、世界の現状を知ることが大切だと感じている。その上で、オリンピックに込められた平和への願いの本質を考えながら、東京オリンピック・パラリンピックを迎えて欲しいと考えている。本授業は、地理的分野「世界の諸地域」を終えた後に行う授業であり、世界平和の価値だけでなく、よりよい社会を築くためにどのようなことが行われているのかを理解させたい。

また、本単元は学習指導要領公民的分野の内容（3）ア「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」につながる内容である。この中項目は、人間の尊重とはどういうことか、それはどのような方法で実現できるのかについて理解させることを主なねらいとしている。個人を尊重し、共生社会を実現するために自分たちにできることについて関心を高め、社会の形成者として進んで追究しようとする姿勢は、3年生になって初めて身につくものではない。1，2年生のうちから多文化社会を生きる上で大切なことは何かを考えることで、公民的分野の学習がより深まるものとする。

#### ○（生徒観 略）

○本単元では、様々な資料を比較や関連させることによって諸事象を考察させ、オリンピック、パラリンピックの意義について考えさせたい。その際に、前時に図書館での調べ学習を行い、統計や地図、写真などの具体的かつ多様な資料を活用させ、資料活用の技能や思考力の育成を図る。三つのテーマを設け、学習班の中で選んだテーマについて図書資料を用いて調べる。その際に、学校司書と協力し、資料の選定を行う。本時は、ジグソー法を用いて学習を進め、図書館で調べた情報をどのようにまとめていくかという点にこだわりたい。最初にエキスパート活動を行い、同じ資料を選んだ者同士で情報交換を行い、

自身の情報をさらに深めさせる。後半は学習班に戻して三つの資料の情報を班で共有する。課題（問い）として、「オリンピック、パラリンピックのめざしているものとは何だろう」を提示し、オリンピックやパラリンピックに込められた願いや大事にしているものについて考えさせたい。

## 5. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の現状や諸問題に関して興味・関心をもつ。</li> <li>「自分だったら」という視点を持ち、地球人として共により良い世界にしていくために前向きに考えようとする。</li> </ul>
社会的な思考・ 判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の諸問題」について自分に置き換えて考えたり、自分にできること、将来の自分にできること、日本の社会にできることを考えたりすることができる。</li> <li>東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、世界平和に向けての考えや自分なりの思いを表現することができる。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができる。</li> </ul>
社会的事象につ いての知識・ 理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と他国との同じところや違うところに気付いたり、世界の人々の生活を想像したりして世界の課題について理解する。</li> <li>世界の人々と自分の生活とを比較し、同じところと違うところを知る。</li> </ul>

## 6. 本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達してほしいめやす
これ まで	平和学習（戦争について考えよう） ＜学年集会＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の現状を知る。</li> <li>「なぜ戦争はいけないのか」自分の考えを整理することができる。</li> </ul>
	オリンピックを知ろう。 ＜朝礼・終礼＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピックとは何か、どんな取組なのかを大まかに理解する。</li> </ul>
前時	（図書館での調べ学習） エキスパート活動 A：オリンピック・パラリンピックとは何か B：オリンピックが大切にしているものは何か C：パラリンピックが大切にしているものは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当するエキスパート資料をもとに、課題（問い）、A、B、Cについて話し合い、ジグソー活動時に班のメンバーに説明できるようにしておく。</li> <li>図書資料を活用し、教科書や資料集よりも広い視点で意見をまとめる。</li> </ul>

本時	エキスパート活動 ジグソー活動 クロストーク活動	・ジグソー班で、担当エキスパートの内容を説明できる。また、他資料の説明を聞き、課題「オリンピック、パラリンピックのめざしているものは何だろう」について総合的な説明ができる。
次時	歴史学習の導入	・学習内容を生かしつつ、平和をキーワードにして歴史を学ぶ。

## 7. 本時の学習

### (1) 目標

- ・「オリンピック、パラリンピックのめざしているものとは何だろう」という問いについて自分なりの解答をつくり、説明することができる。

### (2) 学びあいの視点

- ・少人数での話し合いの中で生徒同士で意見を交換したり、自分の言葉で説明したりすることを通して課題解決に向かう。
- ・支援が必要な生徒に対して、適切なかかわりを行う。

### (3) 本時の学習活動デザイン

時間	学習活動	支援等
導入 5分	① 前時までの学習を想起し、本時の課題（問い）、活動内容を確認する。	前時の活動を簡単に振りかえるとともに、各自の役割を確認する。 本時の学習のゴールと過程を明示し、見通しを持たせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           課題 「オリンピック、パラリンピックのめざしているものとは何だろう」         </div>	
展開 15分	② エキスパート活動 調べた内容の確認 エキスパート班で前回調べた内容についてジグソー班で説明できるように情報を共有する。	・効率よく情報交換ができるように4～5人の班になるように指示する。 ・資料を使って調べたい生徒がいるときは学校司書と連携してアドバイスする。

20分       ま と め  10分	③ ジグソー活動 各エキスパートごとに説明 課題（問い）に対するまとめ作成 ジグソー班（学習班）になり、A、B、 C それぞれの情報を班で発表し、課題 に対する解答を作成する。  ④ クロストーク活動 各グループでのまとめ発表   ⑤ 課題(問い)について各自でまとめる。 クロストークの内容を踏まえて、課題に 対する自分の回答を作成する。	・学習班に戻し、資料 A から順に説明 するように指示する。 ・3つの資料から得た情報をもとに、 課題（問い）に対する回答を班で協力 して作成するように指示する。  ・各班のまとめを視覚的に見ることが できるようにスクリーンにまとめる。  ・「共生社会」「持続可能な開発」「平和」 という3つの観点でまとめることが できるようにスクリーンに提示する。
---	---	--

#### (4) 授業の視点

- グループでの意見交換、ワークシートの準備、グループ学習などの支援は、生徒の思考を促す上で適切であったか。

#### (5) メインの課題（授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題）

「オリンピック、パラリンピックのめざしているものは何だろう」

#### (6) 期待する解答の要素

- ・多様性を認め、誰もが個性や能力を生かして活躍できる共生社会を実現したい。
- ・環境問題やバリアフリーなど誰もが住みやすい、よりよい社会をつくるために社会を変革していきたい。
- ・人間の尊厳を守り、世界平和を実現したい。

#### (7) 各エキスパートのポイント

エキスパート A：オリンピック・パラリンピックとは何か。

- いつ始まったの。
- 何をやっているの。
- 何のためにやっているの。
- 何回くらい行われているの。
- どんな基準で開催地が選ばれているの。
- 何種目くらいあるの。
- 何年ごとに行われているの。

エキスパートB：オリンピックが大切にしているものは何か。

- オリンピックの旗にはどんな意味があるのか。  
五つの大陸が仲良くなることを表す。6色は、世界の国旗をすべて描くことができ、世界の人々が手をつなぐことを願っている。
- 国際オリンピック委員会が大切にしているものは何か。  
オリンピズム（スポーツを通じて心と体を鍛える、国の違いに関係なく友好を深める。）相手を尊敬するフェアプレー。
- なぜ平和の祭典と呼ばれているのか（歴史から考えよう）  
オリンピック休戦（オリンピックのある年は戦争をやめて参加）
- 開会式や閉会式に様々なパフォーマンスが行われるのはなぜか。  
鳩をとばす・・・平和をめざすアピール  
国をこえて一つのまとまりになるため
- オリンピックはどんなことを大切にしているのだろうか。  
目標に向かってがんばること。フェアプレーの精神。  
世界平和。スポーツを通して心と体を鍛えること。  
人間の尊厳を保持し、平和な社会。
- オリンピックを成功させるためにどんな取組が行われているのか。  
安全対策。バリアフリー。環境問題への取組。  
ボランティアなどみんなで支える取組  
文化プログラムの実施。

エキスパートC：パラリンピックが大切にしているものは何か。

- パラリンピックの旗（シンボル）にはどんな意味があるのか。  
『心（スピリット）・肉体（ボディ）・魂（マインド）』  
パラリンピックムーブメント（パラリンピックスポーツを通して発信されるユニバーサルデザインに基づく競技会場整備をはじめとする、過去最高の環境整備を推進し、価値やその意義を通して世の中の人に気づきを与え、より良い社会を作るための社会変革を起こそうとするあらゆる活動）が世界中に広がるように
- パラリンピックはどんなことを大切にしているのか。  
すばらしいプレーで人を勇気づけること  
障がいについての理解                      勇気～困難に立ち向かう  
強い意志から最後までやり抜く          公平～すべての人を尊重する  
インスピレーション～見る人に勇気と感動を

多様性を認め合い、お互いを尊重する

- パラリンピックを成功させるためにどんな取組が行われているか。  
 コンセプト すべての人が自己ベスト 一人一人が互いを認め合う  
 未来につなげる

共生社会の実現（多様性を受け入れ、調和させる）

アクション&レガシー（大会を成功させ、その結果を未来に残す）

誰もが住みやすい街づくり。

- 障がいのある人が参加できるようにするためにどんな工夫があるか。  
 ユニバーサルデザインに基づく競技会場整備をはじめとする、過去最高の環境整備を推進  
 障がいに対する理解を深め、障がいのある人等とのコミュニケーションについて分かりやすく学ぶための取組を推進  
 バリアフリーの推進

#### （8）ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

歴史を学ぶ意義は、現代を考えること、人間を考えること、そして、未知のものへの理解を深めることにある。歴史を学ぶことは、「今」と無関係ではなく、そのため歴史を学ぶことは、未来の社会を考える一助になると共に、過去を掘り起こし、現在に生かすことにもつながる。オリンピックの学習を通して平和への願いや取組を知り、次時から始まる歴史学習への意欲づけにしたい。

#### （9）本時の評価

本時の 評価規準	「オリンピック、パラリンピックのめざしているものとは何だろう」という問いについて自分なりの解答をつくり、説明することができるか。		
判断の めやす	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	「共生社会」「持続可能な開発」「平和」の3つのポイントすべてが回答の中に盛り込まれている。	「共生社会」「持続可能な開発」「平和」のうち2つのポイントが回答の中に盛り込まれている。	(B) に達しない記述
生徒への支援策	なぜそう思ったのか、より具体的に述べるができるように言葉かけをする。	3つの観点を提示し、触れていない観点についてまとめるように言葉かけをする。	3つの観点のうちの1つに絞り、まとめをつくるように言葉かけをする。
評価方法	ワークシート、発言		

## ヒントカード A

エキスパート A：オリンピック・パラリンピックとは何か。

- いつ始まったの。
- 何をやっているの。
- 何のためにやっているの。
- 何回くらい行われているの。
- どんな基準で開催地が選ばれているの。
- 何種目くらいあるの。
- 何年ごとに行われているの。

## ヒントカード B

エキスパート B：オリンピックが大切にしているものは何か。

- オリンピックの旗にはどんな意味があるのか。
- 国際オリンピック委員会が大切にしているものは何か。
- なぜ平和の祭典と呼ばれているのか（歴史から考えよう）
- 開会式や閉会式に様々なパフォーマンスが行われるのはなぜか。
- オリンピックはどんなことを大切にしているのだろうか。
- オリンピックを成功させるためにどんな取組が行われているのか。

「持続可能な開発目標」(SDG s)の中に書かれている世界の抱える問題を解決するためにオリンピック、パラリンピックはどのような取組をしていますか。

例えば・・・13環境問題に対してどんな取組をしているか

## ヒントカード C

エキスパート C：パラリンピックが大切にしているものは何か。

- パラリンピックの旗（シンボル）にはどんな意味があるのか。
- パラリンピックはどんなことを大切にしているのか。
- パラリンピックを成功させるためにどんな取組が行われているか。
- 障がいのある人が参加できるようにするためにどんな工夫があるか。

「持続可能な開発目標」(SDG s)の中に書かれている世界の抱える問題を解決するためにオリンピック、パラリンピックはどのような取組をしていますか。

例えば・・・13環境問題に対してどんな取組をしているか



## 8 研究協議の概要

参加者	校内 7名、校外 33名 計 40名
授業及び研究協議の概要	「オリンピック・パラリンピックのめざしているものは何か」というテーマで3つの視点から調べ学習を行った（前時）。本時は調べた内容を統合し、テーマについて班ごとに考えたことを説明するという内容だった。学校図書館司書との連携の仕方や資料集めの方法、調べただけの学習で終わらせないようにどのような工夫ができるのかという点について意見交換がなされた。